



第三航空隊 P-1型哨戒機

彩雲

大和市自衛隊協力会新聞 第50号

発行責任者：谷 悟累
 大和市深見西2-6-28 (事務局)
 TEL：046-261-9700
 FAX：046-264-3511
 編集協力：厚木航空基地隊

新着任指揮官紹介



厚木航空基地隊司令
1等海佐 堀 博幸

大和市自衛隊協力会の皆様、お久しぶりです。昨年十二月、厚木航空基地隊司令を拝命し、福井県の自衛隊福井協力本部長から着任した堀1佐です。皆様には、平素から防衛省自衛隊、とりわけ海上自衛隊厚木航空基地に対し、深いご理解とご支援、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

出身は、宮崎県の延岡市ですが、自宅を南林間に構え、妻と子3人が住んでおります。厚木航空基地には、通算3回の勤務があり、第五十一航空隊勤務時には副長を務めました。また、平成二十年十二月からは、約一年半、硫黄島航空基地隊司令としても勤務させて頂きました。

厚木航空基地は、厚木基地在籍の部隊のみならず、飛来する航空機等に対する航空管制・気象・航空救難・宿泊・給養・車両・衛生・経理支援や飛行場等施設の警備・維持管理、ジプチ派遣部隊等の経理支援など、広範多岐な業務を実施しています。硫黄島航空基地隊との関係でも、当該隊員は本土との往復で厚木航空基地を経由致しますし、司令部も厚木に所在するため、家族が大和市内に居住している隊員も数多く、その福利・厚生や家族支援等も当隊が実施しております。また、米海軍艦載機の夜間離着陸訓練(NLP)については、騒音問題への対応のため、米軍や硫黄島との緊密な連携を図りながら運航支援等を行っています。

ところで、硫黄島には今でも一万一千以上のご遺骨が眠っております。

昨春秋、ガダルカナル島で収容された一三七柱のご遺骨が、練習艦「かしま」のタラップを實習幹部達にしっかりと棒持されて登り、帰国されました。硫黄島や遠い異国の地で祖国の行く末を案じ、家族の幸せを切に願いながら斃られた多くの尊い御霊の上に我が国の現在の平和があります。

そのことを改めて深く胸に刻みつつ、最近の安全保障環境、とり分け中国による一方的な「力による現状変更や海洋支配への試み」を見るにつけ、二度と戦争の惨禍を繰り返さない「不戦の誓い」実現のためにも、切れ目ない一連の「平和安全法制整備法」及び「国際平和支援法」の制定が焦眉の急と感ずる毎日です。

東日本大震災をはじめ広島での洪水、御岳山等の噴火など相次ぐ自然災害の度に、自衛隊は昼夜を分かたず、また危険やリスクを顧みず、救助活動にあたってきました。「軍事力は戦うためだけのものではない」という発想は、もはや時代遅れであり、災害救援に加えて紛争予防、復興人道支援など、あらゆる機能を備えた軍事力の役割は、国際社会全体に大きく広がっております。

そして、今年には戦後七十年という節目の年です。半島や西の海では必ずしも波静かではありませんが、我々も今一度歴史を紐解き轍を踏まぬ努力が必要です。日米同盟のかなめ基地として、隊員は勤務の傍ら阿波踊りや各種スポーツ活動等で米軍や大和市をはじめ近隣地域の皆様との交流も図っております。遙か南方の硫黄島航空基地への業務支援も含め、厚木基地周辺の皆様の長年にわたる継続したご理解とご支援、ご厚情なくしては海自の任務は達成できません。



今後とも海自厚木航空基地に対するなお一層の理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ともに、大和市自衛隊協力会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念致しまして着任のご挨拶とさせていただきます。



厚木システム通信分遣隊長
3等海佐 飯塚 泰司

大和市自衛隊協力会の皆様には、平素から格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、五月一日付で厚木システム通信分遣隊長を拝命しました飯塚と申します。厚木基地には、海曹時代に当時の厚木航空通信隊に勤務して以来であり、今回指揮官として約二十年ぶりに着任しましたことに、大きな感銘を受けつつも、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

さて、当隊の任務は、厚木航空基地内の地域通信網の維持管理、担当通信系の構築等とされており、航空集団及び第四航空群をはじめとした厚木航空基地所在部隊に対する通信支援等を行っています。

海上自衛隊の通信は、モールス、テレタイプによる無線通信から、技術の進展とともにコンピュータネットワーク、衛星通信へと大きく進歩してまいりましたが、技術やインフラが大きく変わろうとも、指揮統制を担う通信の重要性はいささかも変わりません。当隊は、前線で活躍する部隊へ「確実」、「高速」かつ「正確」な通信を提供すべく、隊員一同、日々の業務に励んでおります。

そしてこのように我々が職務に専念できるのは、皆さま方大和市自衛隊協力会を初めとする地域の皆様の温かいご支援とご理解があつてのものに確信しております。

皆様には引き続き海上自衛隊、そして厚木航空基地所在部隊へのご理解とご協力をお願いするとともに、大和市自衛隊協力会の今後益々のご発展と、会員皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



厚木警務分遣隊長
1等海尉 田代 和也

この度、本会紙「彩雲」の紙面をお借りしてご挨拶をさせていただきます。私は、前任地の横須賀地方警務隊本部から、昨年十二月十日付けで厚木警務分遣隊長に着任しました田代と申します。

海上航空の第一線部隊が配置されている当航空基地で勤務できる喜びとともに、初の勤務地であるため、緊張感を持って職務に当たっております。

さて、警務隊の任務は、部内の秩序維持に専従する者（特別司法警察職員）として、犯罪に関する司法警察業務を行い、あわせて部隊等の長の行う保安業務に協力することとされています。

幸いにしてこししばらく、当航空基地では警務隊が担当すべき事件の発生はなく、これもひとえに各隊司令等の親身な指導と隊員個々の資質及び自覚の表れと考えます。そして同時に、この無事故の最も大きな要素は、隊員が職務に専念できる環境づくりであって、背景には、皆さま方大和市自衛隊協力を初めとする当航空基地にご理解のある方々から温かいご支援を頂いた結果であると確信しております。

新成人に記念写真の贈呈

二月十二日、大和市自衛隊協力会から平成二十六年度成人の仲間入りをした十四名の隊員



に対して記念写真二組（本人とご家族用）が贈呈されました。（当協力会松森理事撮影）贈呈は、二川群司令同席のもと、会長の

激励品の贈呈



もと、山崎裕貴 監督に目録が手渡され、チームの大野慎二部長は、今年こそ、海上自衛隊を代表しているという誇りを胸に、自衛隊で欠かすことのできない「強い団結力」をもって関東リーグ一部昇格を目指します！と力強く述べ

二月二十四日、第四航空群司令部において、大和市自衛隊協力会から厚木マーカー（サッカーチーム）に対し、清涼飲料水の激励品が送られました。激励品は、大高会長から二川群司令同席の



ていました。また、同日当協力会から硫黄島航空基地隊員に対し、清涼飲料水の激励品が送られました。激励品は、大高会長から二川群司令同席のもと、硫黄島航空基地隊司令に目録が

厚木航空基地支援団体 連絡協議会が発足

※硫黄島航空基地は、大和市から南方一三〇〇キロに位置している硫黄島内にあり、NLP等の支援及び小笠原諸島への災害派遣等の航空業務に二〇〇名強の隊員が元気に勤務しています。

近年の自衛隊の活動範囲は、安全保障環境の変化に対応して、拡大される傾向にあります。長期間にわたる海外派遣等の機会が増え続けているこのような情勢の中、平成二十七年六月一日に、それぞれ個々の得意な分野での活動を行っている当協力会を含む支援6団体が、部隊及び隊員の支援が必要と認められる事業の実施について相互の調整を図ることを目的として連絡協議会が設立されました。

参加団体は、当協力会をはじめ自衛隊厚木基地協力会、隊友会県央支部、父兄会大和地区、父兄会海老名・綾瀬地区、水交会湘南支部の6団体であります。初代の厚木航空基地支援団体連絡協議会 会長として当協力会の大高会長が就任いたしました。

連絡協議会としては、今後の部隊側からの要望を受けまして、それぞれの団体の得意分野を

念頭に置いて支援すべき事業を検討していくこととなります。設立理事会へ来賓としてご出席いただきました二川第四航空群司令より、「今後は、連絡協議会が6団体の窓口となって支援してくれるのは有難いです。この連携が6団体の大きな輪となることを期待しています。」とご挨拶がありました。

平成二十七年初訓練飛行



第四航空群司令
海将補 二川 達也

第四航空群（群司令・二川達也海将補）は平成二十七年一月八日、新年の幕開けに際し、今年一年の飛行安全を祈願して初訓練飛行を実施しました。初訓練飛行は、P-3C哨戒機四機が参加し報道陣に公開されました。初訓練飛行



に先立ち、群司令が格納庫内に整列した隊員に対し、旧年中的隊員とその家族の労を労うと共に「P-1の実戦部隊への配備と共に、C-130Rの本格的な運用に伴う整備作業

の開始など、第四空群にとって、数十年に一度といえる大きな変化の年となる。我々がパイオニアとして歩み始める道は、決して平穩に進んでいけるとは限らない。諸官には、「挑戦」の気概をもって、そのいばらの道を私と一緒に歩んでもらいたい。」と訓示、その後、搭乗員達は各チームに分かれて搭乗し、隊員総員が見送る中、厚木航空基地を離陸していきました。

近年まれに見る快晴に恵まれ、厚木航空基地を飛び立った4機のP-13Cは、編隊を組み富士山周辺及び相模湾上空を約4時間にわたって訓練飛行し、上空から澄み渡った世界遺産の富士山に今年一年の飛行安全を祈願しました。



P-1型哨戒機 第三航空隊に配備

第三航空隊（司令・森竹賢全1等海佐）は、三月二十三日第五十一航空隊からP-1型哨戒機5509号機を受領しました。

桜の花もほころび始める穏やかな天候の中、同日付第五十一航空隊から第三十一飛行隊長に着任した富田一成2等海佐が機長を勤める5509号機は、ゆつくりと東側から西側エプ



ロンへと地上滑走し、整列した隊員たちに出迎えられ第三航空隊格納庫前のエプロンに到着しました。5509号機に搭乗していたクルーも、当日付第五十一航空隊から第三航空隊に異動となった隊員であり、長い間P-1の開発、運用試験に携わってきました。



森竹司令から、P-1が無事に配備された報告を受けた第四航空群司令（二川達也海将補）は、「海上航空部隊の希望の翼をしっかりと育み、更に飛躍されたい。よろしく頼む。」



と隊員を激励しました。P-1型哨戒機は、P-13C型哨戒機の後継機として平成二十五年四月から厚木航空基地の第五十一航空隊によって運用試験等が行

ジブチ派遣隊帰国行事

平成二十七年二月二十二日、第十七次派遣海賊対処行動航空隊及び第二次派遣海賊対処行動支援隊の帰国行事が厚木航空基地において執り行われました。



派遣海賊対処行動航空隊司令草野2佐以下派遣海賊対処行動航空隊及び同支援隊隊員は、昨年十月に出国し、日中五十℃を超える灼熱の太陽のもと、肉体的、精神的に過酷な勤務環境の中、海賊対処行動に従事し、約五か月ぶりに日本の地を踏みまし

た。P-1型哨戒機は、P-13C型哨戒機の後継機として平成二十五年四月から厚木航空基地の第五十一航空隊によって運用試験等が行



た。また、昨年七月に新編された派遣海賊対処行動支援隊は、活動拠点の維持・管理などに従事し、航空隊の任務遂行に大きく貢献しました。久しぶりの日本の地を踏んだ隊員達は真っ黒に日焼けし、任務完遂による自信と経験から一段と逞しくなったように映りました。出迎えた隊員はもとより、再会を心待ちにしていたご家族も隊員達の元気な姿にうれしさを隠せない様子でした。

厚木航空基地サッカー大会



平成二十七年三月五日、厚木航空基地内マークスグラウンドにおいて厚木航空基地サッカー大会が開催されました。当日は、小春日和の温かい天候に恵まれ、絶好の大会日和となりました。本大会は、厚木航空基地及び硫黄島に所在す

派遣海賊対処行動航空隊は、島国である日本にとって重要な補給線であるアデン湾上空における監視飛行に従事し、商船などの海賊被害未然防止に大きく貢献しまし

日米親善春祭り2015

平成二十七年五月二日、厚木航空基地内において、米海軍厚木航空施設（以下、NAF厚木）及び海上自衛隊第四航空群（以下、四空群）の共催で、「日米親善春祭り2015」が開催されました。

昨年まで、本イベントはNAF厚木主催で行

た。全てのチームが優勝を目指して激戦を繰り広げましたが、マーカーカス部員及び若手隊員を豊富に有する第四整備補給隊が一步勝利、激戦の末に優勝を手にしました。



る全ての部隊に米軍を加え、全八組に分けて実施されました。各チームとも、日頃から鍛えた体とチームワークを活かして健闘し、熱戦が繰り広げられました。試合中は自衛官らしく闘争心に燃え、激しくぶつかりあう場面もありました。プロ顔負けのプレーも数多く見られ、日頃の練習の成果が十分に発揮されています。



わやかな晴天に恵まれた当日は、ゴールデンウィーク初日ということもあり、開門前から長蛇の列ができ、開門後は日米の航空機展示や各種イベント会場が多くの来場者で賑わいました。エプロン地区においては、四空群所属のP-1型哨戒機と米海軍P-18哨戒機の並列展示をはじめとし、多数の日米航空機が展示され、日米の「絆」を感じさせられました。また、海



われていましたが、今年初の日米共催となり、四空群としては平成二十三年の「ちびっ子ヤング大会」以来約四年ぶりの基地開放行事となりました。



上自衛隊初の一般公開となったC-130Rのランプ（後部開閉部）を用いた自衛官制服ファッションショー、海自下総教育航空群所属隊員によるミニP-3Cでの対潜水艦戦のデモンストレーションについても喝采を博していました。



四空群のイベント会場では、派遣海賊対処行動航空隊の活動紹介、制服試着、結索体験、手旗体験、ラッパ吹奏展示が、NAF厚木のイベント会場ではバンド演奏、飲食店等がそれぞれ催されました。

米軍によると、今年の来場者数は約七万人であり、昨年の来場者実績を大きく上回る盛況ぶりでした。

編集後記

沖縄は既に梅雨が明けたようですが、関東地方はこれからが梅雨本番です。九州等では既に集中豪雨による土砂災害が発生しております。災害発生時には速やかに対処できるように今後とも体力気力を鍛えていきたいと思います。ご支援をよろしく願います。

（厚木航空基地隊 総務班長 川口3佐）

当協力会会員の飲食店へのご案内は、**直接こちらから！**



自衛隊員様に日頃の労をねぎらう場を提供できるよう当協力会会員の飲食店をご案内しております！スマートフォンでもご利用頂けます！



大和市自衛隊協力会 公式ホームページ

<http://yamatoshi-jieitai-kyouryokukai.com/>



ホームページ開設

大和市自衛隊協力会のホームページを開設致しました。お洒落なショットバー、スナック、郷土料理、お寿司、大小宴会場など、安心して飲食できるお店の情報が満載です！活動報告や当協力会のイベント情報等、随時更新して参りますので、是非ご利用下さい。